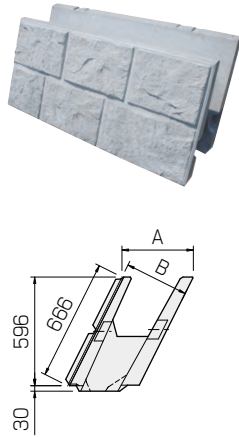
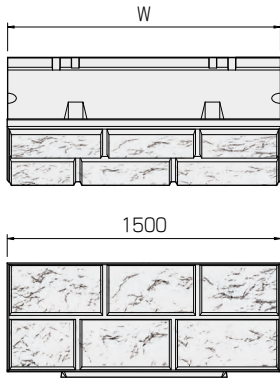


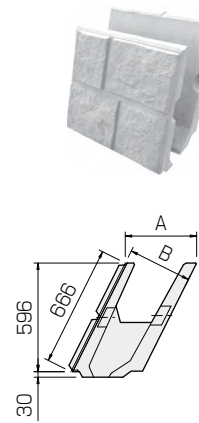
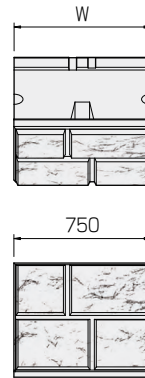
- 1㎡と大型で施工の省力化が図れます。
- ブロック本体が軽量な為、経済性に優れます。
- 水平積みで自立し施工性に優れます。(1:0.5)
- 天端斜切り加工が可能です。
- 専用の基礎ブロックを使用する事で、3分や4分勾配にも対応できます。
- ブロックの表面は自然環境に溶け込みやすい自然石模様です。
- 国立研究開発法人土木研究所 自然共生研究センターに準拠した模様です。
- テクスチャーは基準値【11以上で合格】に対して実測【14】です。



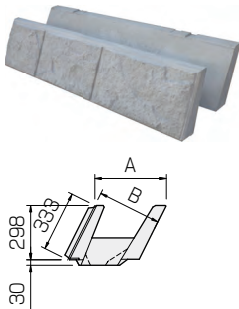
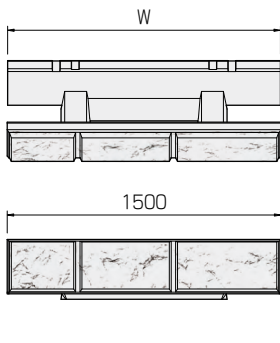
## 本体A型



## 本体B型

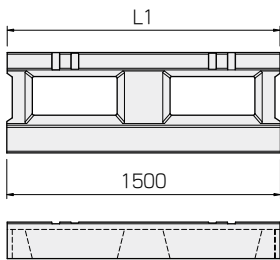


## 本体C型

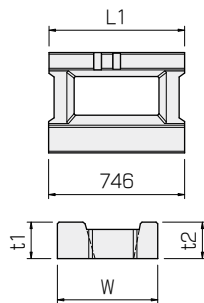


呼び	寸法(mm)			参考重量(kg)	胴込量(m³)	
	A	B	W			
本体	35A	391	350	1495	400	0.198
	35B	391	350	745	200	0.099
	35C	391	350	1495	200	0.099

## 5分用基礎 I 型

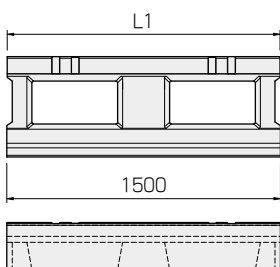


## 5分用基礎 II 型

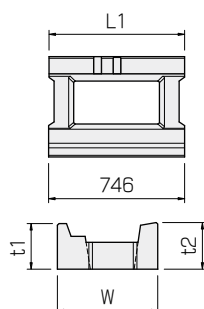


呼び		寸法(mm)				参考重量(kg)	胴込量(m³)
		W	t1	t2	L1		
5分用基礎	5-35 I	550	200	200	1495	239	0.055
	5-35 II	550	200	200	743	120	0.028

## 3分・4分用基礎 I 型

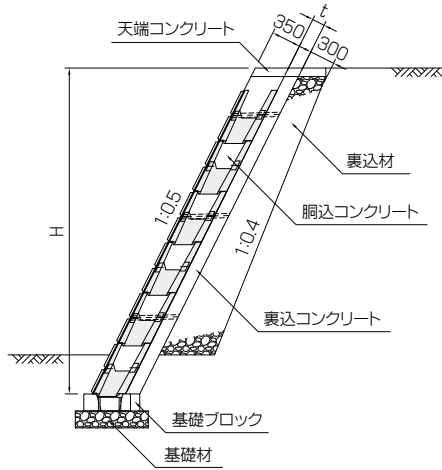


## 3分・4分用基礎 II 型



呼び		寸法(mm)				参考重量(kg)	胴込量(m³)
		W	t1	t2	L1		
3分用基礎	3-35 I	550	250	256	1495	253	0.064
	3-35 II	550	250	256	743	127	0.032
4分用基礎	4-35 I	550	250	216	1495	242	0.056
	4-35 II	550	250	216	743	121	0.028

標準断面図(5分勾配)



施工写真

5分勾配の場合は前丁張が不要。水平であればOK!

裏込め材がなくても、もう一段つむことができ生コンの打設も可能です。



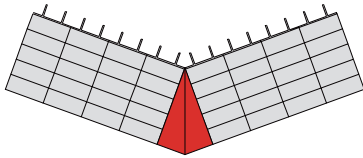
曲線部

標準積み(芋積み)

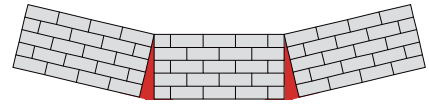
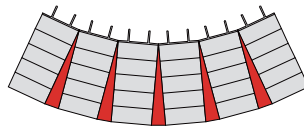
千鳥積み(レンガ積み)

外カーブ

●1箇所の現場打ち部で処理する場合

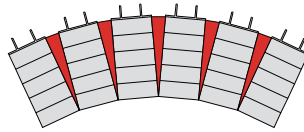
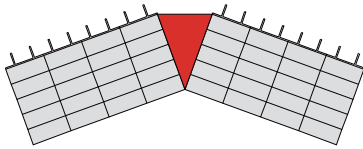


●数箇所の現場打ち部で処理する場合



※曲線部の千鳥積みは推奨していません

内カーブ



■ハチ部分(現場打ち型枠)

参考『大型ブロック積み擁壁設計・マニュアル』  
公益社団法人 土木学会 四国支部  
耐震性大型コンクリート積み擁壁に関する研究委員会

施工歩掛表

ブロック積工 参考歩掛表

(10㎡あたり)

種別	名称	規格	単位	数量	備考
ブロック積工	土木一般世話役		人	0.2	
	ブロック積工		人	0.8	
	特殊作業員		人	0.4	
	普通作業員		人	0.4	
	大型ブロック	Aタイプ	個	10	
	大型ブロック	Bタイプ	個		必要に応じて計上
	ラフテレーンクレーン賃料	油圧伸縮ジブ型25t吊	日	0.4	排出ガス対策
	諸雑費	労務費の4%	%	4	

- (注) 1.上表には調整コンクリートの打設、現場内小運搬(30m程度)のほか、水抜パイプ(水抜孔用吸出し防止材を含む)等、その施工に必要な全ての機械、労務、材料費(損料)を含む。  
2.ラフテレーンクレーンの運転は、ブロック、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材の吊上げ、吊り下げ作業を含む。  
3.ラフテレーンクレーンは賃料とし、現場条件等で25t吊りの施工が不可能な場合は、規格以上の最適な機種を選定する。  
4.目地材は必要に応じて、「第Ⅱ編第2章⑩目地・止水板設置工」『国土交通省土木工事積算基準』により選定する。

胴込コンクリート打設工 参考歩掛表

(10㎡あたり)

種別	名称	規格	単位	数量	備考
打設工	特殊作業員		人	1.2	
	普通作業員		人	2.3	
	コンクリート	21-8-25BB	m <sup>3</sup>		ロス率+0.12
	諸雑費		%	10	

- (注) 1.諸雑費は、コンクリートバケット、パイプレダ、電力に関する経費、型枠等の費用であり、労務費の合計額に上表率を乗じた金額を上限として計上する。  
2.運搬距離30m程度の現場内小運搬を含む。  
3.養生が必要な場合は、「第Ⅱ編第4章①コンクリート工」『国土交通省土木工事積算基準』による。